

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

難問・奇問にチャレンジ!

9/23 第1回クイズ王選手権大会



▲○×クイズのもよう

第1回クイズ王

中学年 原田 朋君 (草野小)
高学年 大内彩加さん (草野小)

公民館で「第1回クイズ王選手権大会」が開催され、飯樋と草野の小学生17人が参加しました。この大会は、相農飯館分校生で組織するジュニアリーダースクラブ(菅野裕一代表)が主催したものです。クイズは、○×クイズや漢字クイズ、一般クイズの3種類用意され、参加した子どもたちは、次々に出題されるクイズに楽しくチャレンジしていました。大会を終えて、主催者の菅野君は「希望者が多かったのでまた企画してみたい。今度は小学生と一緒に企画する」とも考えたい」と感想を話していました。

笑顔あふれたスポーツ大会



▲3本のピンを倒すストーンボウリング

身体に障がいを持つ方が、スポーツを通して活気に満ちた健康と生きがいづくりを目指す「第5回ふれ愛ピック」が飯館中学校体育館にて開催されました。今年も民生児童委員協議会員やボランティア団体連絡協議会員のサンク・エール'93、相農飯館分校生などのボランティア30人がスタッフとして大会運営をサポート。大会は、50人の参加者が3チームに分かれ、ストーンボウリングや輪投げなど4種類の競技で点数を競いました。競技終了後には、赤十字奉仕団員や更生保護女性会員による豚汁がふるまわれ、参加者は互いの健闘を称え合いながら交流を深めていました。

10/23

ふれ愛ピック

10/20 3町村の農業委員が交流

飯館村・新地町・鹿島町の農業委員ら60人が参加し、村内を会場に交流会が行われました。

この交流会は、3町村の農業委員会が毎年会場を持ち回りで開催しているもので、今年で23回目。交流会では、10チームに分かれ、グラウンドゴルフを行いました。また、交流会後には、「きこり」で情報交歓会も行われ、活発に意見を交わすなど、有意義な交流会となったようです。



▲村グラウンドゴルフ協会の協力を得て行われた交流会

都会に住む人たちが 飯館村・浪江町で 田舎暮らし体験ツアー

9/22・23



▲愚直会員(写真中央)の指導を受けてそば打ちをする参加者ら

あぶくまロマンチック街道構想推進協議会主催

県と飯館村・浪江町・葛尾村・川内村・田村市都路町で組織する「あぶくまロマンチック街道構想推進協議会」主催の「田舎暮らし体験ツアー」が行われ、関東在住の7人が参加し、農村体験を行いました。22日、一行は浪江町でエゴマ油搾りを見学したり、空き家物件を視察した後、本村に移動。「きこり」にて、Uエターンで村に移住した方たちと懇談会を行いました。

翌日は、村内で木工細工体験や、そば打ちを体験。今回の参加者は、将来的に田舎暮らしを希望している方たちで、このツアーが、田舎暮らしを理解する良いきっかけとなったようです。同協議会では、元気なあぶくま地域づくりのため、今後も活動を進めていく予定で、12月3日には、あぶくま5市町村の連携を深めるシンポジウムが、「きこり」を会場に開催されます。

いたてイオンの森 あい・らぶ・湯

10/22

イオラ利用者が1万人

今年4月にオープンした「いたてイオンの森 あい・らぶ・湯」の、イオラ利用者が1万人を超えました。1万人目の利用者は、飯野町の高槻さん。高槻さんには、「きこり」からペアの宿泊券とイオラ券2枚が贈られました。また、9999人目の志賀さん(原町市)と、10001人目の大槻さん(原町市)に



▲1万人目の高槻さん(写真中央) 左は大槻さん、右は志賀さん

今年も大収穫 北山さんが発見 巨大イノハナ

10/27



▲発見したイノハナを持つ北山さん

北山初夫さん(久保曾)が、今年も大きなイノハナを発見しました。かさの直径が33cmほどもあるこのイノハナは、北山さんがキノコ採りに出かけた際、近所の山で見つけたとのこと。北山さんは、一昨年は巨大マツタケを、昨年も直径35cmほどのイノハナを発見しています。

村に初めての NPO (特定非営利活動法人) が 設立



▲写真左から濱田光弘監事、菅野村長、森健治副理事長、北原繁理事長

「いいたて教育文化福祉の茂里支援センター」が 考える教育文化福祉

教育...子どもが自ら学ぶ意欲を活性化させて、魅力ある人づくりを推進する力（教育力）を向上し、生きる力を創出する教育

文化...人々に元気を与え地域社会全体を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力（文化力）を向上し、心の豊かさを創出する文化

福祉...誰もが豊かさと優しさをもつ行動を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力（福祉力）を向上し、思いやりを創出する福祉

村に初めてのNPOが設立し、役員が菅野村長へあいさつに訪れました。NPOとは（Non-Profit Organization）の略で、市民活動団体などの「民間非営利組織」を広く指します。営利企業とは異なり、社会の様々な課題に対して、自らやるべきことを発見して行動し、実現しようとする組織や団体のことです。

近年、新たな公共サービスの担い手や住民参加の場としてNPOの設立が増えており、10月現在で県内では300近くのNPOが活動しています。今回、村内に設立された法人は「いいたて教育文化福祉の茂里支援センター」（北原繁理事長）。

生活支援・次世代人材育成やまちづくり事業の推進を支援したり、地方自治についての評価・提言を行い、公益の増進に寄与することが主な活動目的です。

会場と心に響く ハーモニー

10/17 村内小中学校音楽祭



▲音楽祭のようす（写真は飯樋小）

村教育研究会（荒川忠則会長）と村教育委員会が主催する「村内小中学校音楽祭」が、飯館中学校体育館にて行われ、生徒たちが日頃の練習の成果を発表しました。

今回の音楽祭に参加したのは、草野小と飯樋小の4年生、白石小の3・4年生、飯館中の2年生（選択音楽）。さらに、草野小金管クラブと飯樋小特設合唱部、そして飯館中吹奏楽部。

それぞれ合唱や合奏を2〜3曲ずつ発表した後、最後に参加者全員で「野に咲く花のように」を合唱しました。

会場には多くの保護者らが訪れ、合唱や演奏が終わるたびに大きな拍手を送っていました。

中学2年生が 将来の飯館村を提言

10/7 課題や対処方法も発表 村長との対話集会



▲集会のようす

「いちばん館」にて、飯館中学校（島義一校長）の2年生78人が、村長との対話集会を行いました。

この集会は、生徒たちが村についての理解を深めるために、総合的学習の時間を利用して取り組んだものです。

集会では、はじめに村長から村の歴史やこれまでの取り組みなどが紹介された後、生徒たちが現在の村の課題と、それに対する対処方法を発表しました。

主な発表内容は、歩道への街灯設置や道路脇のゴミ拾いと除草、子どもの遊び場の設置などです。

また、将来の飯館村について、スクールバスを活用したお年寄りの交通手段確保や小中高一貫教育の取り組み、企業誘致などを提言しました。

このほか、村長から提案された、「広報いいたて」の中に、生徒たちが作成するページを設けることも約束しました。

広報1月号から、生徒たちが作成したページを設ける予定です。



地区別計画の評価

去る11月1日、飯館村が総務大臣賞をいただけてきました。

内容は「過疎地域自立活性化優良事例」での表彰です。多くの過疎地域において厳しい状況の中で、創意工夫により活性化が図られ、自立が進められている優良事例として表彰されたのでした。

全国で5団体の表彰でしたが、飯館村は平成2年にも表彰されていますので今回が2度目。2度の表彰は全国で初めてだそうです。

飯館村がとても高い評価をいただいたのですから大変うれしくなっていますが、村が進めてきた「地区別計画」が、特に高く評価されたようです。したがって、これまでの行政区の皆さんの活動が大臣賞になったのだと言ってよいでしょう。

「ここ10年以上、20行政区が区長さんを中心として、自分の地域は自分が汗をかかないと良くならないんだ」ということで、忙しい中色んな地区別活動をしてきていただいたお陰であります。

地区別計画は、「苦労が多い」、「息が切れる」、「大変だ」などといったこともありましたし、第5次計画の「やるきつながりプラン」も、「もったくさん」との声も聞きます。しかし、中央集権時代から地方分権の時代になった今、「自己決定 自己責任 自己負担」の自主自立の考え方を進める村の計画は、他の過疎地域のみならず、全国の自治体のモデルにもなりつつある計画です。

ですから、合併しないで自立、来年の立村50年と、新たなスタートをきる飯館村にとって、「素晴らしい計画なので、これからも頑張るように」という国からの声援がこの賞であり、今回の飯館村の受賞は村民がいただいた賞でもあります。

大変でも、また皆で努力していきましょう。

平成17年11月2日
飯館村長 菅野 典雄